

65歳以上のインフルエンザ予防接種がはじまります

インフルエンザは、ふつうのかぜと違い、いきなり高い熱が出て、頭痛、関節痛、筋肉痛などをともない、強い全身倦怠感に襲われ、気管支炎、肺炎など合併症をおこして重症化しやすいのが特徴です。特に65歳以上の高齢者や慢性疾患患者で入院や死亡の危険が増加するという点でもふつうのかぜとは異なります。早めに予防接種を受けて予防しましょう。

▶と き 10月1日(火)～令和2年1月31日(金)

▶実施機関 市内指定医療機関（下表参照） ※直接医療機関にお申込みください。

▶対 象 昭和29年12月31日以前に生まれた市民 ※接種できるのは65歳のお誕生日以降です。
※60歳以上65歳未満の市民で、心臓、腎臓または呼吸器の機能に、自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障がいや有する人およびヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有する人は、対象になる場合があります。

▶持 ち 物 予診票兼接種券・健康保険証・健康手帳（保健センターで発行します。）
※予診票兼接種券を9月下旬に個別通知します。対象者で通知の届かない人、健康手帳がない人は、保健センターへお問合せください。

▶費 用 1,000円
※費用免除を希望する市民税非課税世帯または生活保護世帯の人は、接種前に保健センターへ申請が必要です。接種後に申請しても返金はできませんので、ご注意ください。（申請には、予診票兼接種券と印鑑をお持ちください。接種者と申請にみえる人が別の場合、両方の印鑑および窓口に来る人の身分証明書（個人番号カード・運転免許証・健康保険証など）が必要です。）

▶注 意 点 市外にかかりつけ医がいる人や長期入院で市内での接種が困難な人で、市外の医療機関での接種を希望される人は接種前に保健センターへ申請が必要となる場合があります。詳しくは、通知文書をご確認ください。

手続きが必要な場合は、予診票兼接種券と接種者本人の印鑑（窓口に来る人が別の人の場合はその人の印鑑も必要）をお持ちのうえ、保健センターでご申請ください。申請後、市外での接種に必要な書類が1週間ほどでできますので、再度保健センターに書類を取りに来ていただく必要があります。

▶問 合 せ 保健センター（☎82-8211）

【インフルエンザ個別予防接種市内指定医療機関】

医療機関名	所在地	電話	医療機関名	所在地	電話
あいちハートクリニック	東上重原6丁目70番地	91-5810	竹内クリニック	上重原町恩田212番地	83-0002
秋田病院	宝二丁目6番地12	81-2763	知立クリニック	八ツ田町神明22番地	82-1367
いわせ外科クリニック	西町新川1番地3	81-3605	知立団地中央診療所	昭和九丁目4番地	81-3405
大岩内科クリニック	上重原四丁目66番地	85-1177	知立南皮フ科	東長篠一丁目1番地13	83-2883
大山クリニック	南陽二丁目48番地	82-0106	西中町クリニック	西中町中長1番地1	84-3304
おがわ内科・循環器科	谷田町本林一丁目2番地1	81-7011	耳鼻咽喉科まざクリニック	谷田町本林二丁目10番地11	84-3387
かじた子どもクリニック	南新地三丁目6番地17	84-6600	富士病院	牛田町西屋敷137番地1	85-1000
加藤耳鼻咽喉科	南新地三丁目2番地6	81-0632	松井医院内科・胃腸科	中山町中山45番地	81-0005
かみやクリニック	弘法町弘法山45番地5	81-0052	松井みみはなクリニック	鳥居一丁目12番地13	81-8711
栄クリニック	栄一丁目8番地	81-0067	水野内科クリニック	池端二丁目17番地	82-8200
さわやか内科クリニック	谷田町西一丁目14番地4	91-1114	宮谷クリニック・小児科	新池三丁目28番地1	81-0338
新林内科医院	新林町新林40番地6	82-2616	整形外科よしだクリニック	新池一丁目70番地	84-3500

長引く咳は、結核かも？ 年1回は胸部X線検査を受けましょう

338 ▼問合せ 衣浦東部保健所 健康支援課地域保健グループ（☎219）

衣浦東部保健所では、結核に関する相談・支援をしています。ご心配のある人はお気軽にご連絡ください。



結核予防キャラクター シールぼうや

・乳児には結核の予防接種（BCG）があります。市の案内に従って1歳までに受けましょう。

・年1回は職場健診や住民検診等で胸部X線検査を受けましょう。

・バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動等、規則正しい生活を心がけましょう。

・2週間以上の咳や痰等の症状が続く時には必ず病院を受診しましょう。

しかし一方で、働きざかりの年代での発病も多くあり、油断は禁物です。結核を予防し、早期発見するためのポイントをご紹介します。

・活動を始めようからだと云われて、70歳以上の高齢者で、平成30年に新たに67人が結核と診断されました。そのうちの半数近くは70歳以上の高齢者で、若い頃に感染した結核菌が、加齢による体力の衰えや免疫力の低下をきっかけに、活動を始めてしまうからだと云われています。

